

科目名	繊維基礎実習		科目コード	1651	
開講学科	美術学科	単位数	4 (計)	形態	実習
教員名	小野山 和代				
授業の目的及びテーマ：					
布や繊維は古くから人々が身につけてきた衣類として、住空間を演出する繊維製品として、私たちの生活と深く関わり最も身近な存在を理解することを目的とする。					
授業概要					
繊維基礎実習では、布や繊維を理解するため、既成の布や繊維を集めることから始め、繊維造形の可能性を探り繊維の構成と題して、編む・織る・縫うなど各種手法を試み、テキスタイル・アートの基礎とします。					
授業計画：					
【通信課題】					
第1課題……第1課題の提出をスクーリング受講要件とします。					
①：綿布・繊維を集める (布5種類以上、繊維5種類以上) 1枚					
②：麻布・繊維を集める (布5種類以上、繊維5種類以上) 1枚					
提出様式：B3ケント紙に布と糸や繊維を貼付(5種以上、たくさん集めてください)					
・貼付する布、繊維の大きさは自由、集めた枚数によりレイアウトしてください					
・布、繊維の名称をそれぞれの下に、わかる範囲で記入してください					
・布や繊維を台紙に貼る時は両面テープを用いたり、縫いつけて目立たないように工夫してください。					
第2課題					
立体小品					
提出様式 ・底に作品タイトル、氏名を貼付					
・こわれないように梱包して送付					
【面接授業内容】					
スクーリングでは次の事項を学習します。					
①バスケットリー					
バスケットリー（かごあみ）の基礎を習得することで、繊維を平面から立体へ展開し、造形の可能性を試みる。					
②布、繊維の構成					
布や繊維を用いてさまざまな構成手法を試み、繊維造形の可能性を探る。					
テキスト	「繊維基礎実習」 小野山和代 著 (大阪芸術大学発行)		参考文献：		
評価方法：					
通信授業は提出課題{2件}を以って評価する。					
面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					

